



運動会特別号

# 元気通信

ブダペスト日本人学校

学校だより

平成28年 9月20日号

## 【運動会を終えて】(運動会担当 大久保・日野・太田)



本年度の運動会は、会場を変更し、AISBにて実施しました。初めての会場でしたが、快晴の中で無事終了することができました。また、保護者の皆様方や現地の方々にも参加して頂き、大変盛り上がった運動会となりました。たくさんの笑顔と歓声に包まれ、温かい雰囲気の中で子どもたちは元気いっぱい競技に取り組むことができました。

子どもたちは、お互いに声をかけ合いながらもてる力を余すことなく発揮しました。その結果として、応援してくださった方々に感動をお届けできたならば幸いです。

最後に、本年度も保護者の皆様に運動会運営のお手伝いの依頼をし、快くお引き受けいただきました。皆様方のお陰でスムーズに進行できましたことを改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

### <各団団長の言葉>

- ・紅組は、昨年度に続いて優勝することができました。みんなでどの競技にも真剣に取り組み、みんなで力を合わせて応援した結果だと思います。ありがとうございました。(紅組団長 野村 遥)
- ・白組のみんなが練習の時から頑張り、運動会当日もみんなの支えがあったので、運動会を成功させることができました。白組のみなさん、ありがとう。(白組団長 児玉一晃)

### <児童生徒の感想>

- ぼくが、一番がんばったことは、つな引きです。みんなで力いっぱいつなを引いたので、2回勝てました。紅組が優勝してうれしかったです。(小1 三輪 樹生)
- わたしの運動会のためは「下級生のお手本になる」です。開会式と閉会式の時、しゃべっていたら、自分達は静かにして注意しました。綱引きの時、応援で前の人が立っていたので、「後ろの人が見えないから座るよ。」と教えることができました。良かったところは、ドナウ祭でも生かしたいです。(小3 足立桃子)
- 今年は、高学年としての参加でした。私は壮太郎さんを見ていてすごいなあと思いました。綱引きで1年生～4年生までの子ども達が負けてしまって悲しい顔をしている時に「ドンマイ。」と優しく声をかけていたからです。「座って、ならんで。」の指示だけではなく、「ドンマイ。」のような優しい声かけが自然にできるということは必要なことだと思います。私もそのような高学年になりたいと思いました。(小5 古田彩英)
- 僕は、今回の運動会でそれぞれの競技で準備から片付けまでを通して様々なことを学びました。特に民舞や応援練習では、全体で一つのものを完成させる達成感や、皆と一緒に練習に取り組むときにそれぞれが責任をもつということの大切さを実感しました。今回学んだことをドナウ祭にも活かしていきたいです。(中1 古田優大)



## 【マラソン大会について】(担当 仲川)

10月8日(土)9日(日)にブダペスト SPAR マラソンが行われます。8日(土)は600m、2.7km、3人×2km、5kmなどたくさんのミニマラソンが行われますが、この日は土曜参観日と重なっております。9日(日)にはフルマラソンと、4人のリレーマラソンがあります。詳細や申し込みの仕方をお知りになりたい方は仲川までお問い合わせください。